

たんばりんぐ



プリザーブド&ドライフラワーの加工作業と製品

3月定例会・予算審議	2
決算審議	5
条例審議	6
一般質問 17人が登壇、市政をたず	8
委員会報告	17
市民の投稿／編集後記	18

厳しく指摘し可決

3月定例会

丹波市の礎づくり・17年度予算

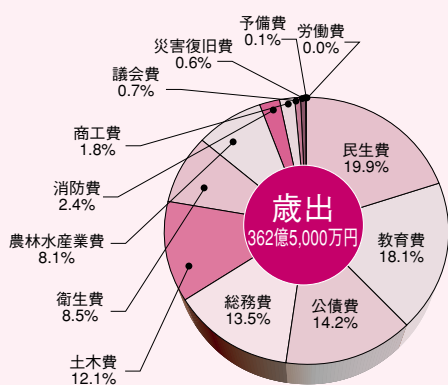
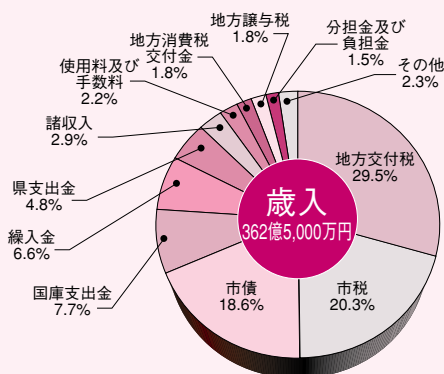
3月定例会が3月2日から3月29日までの28日間開催されました。平成17年度の予算審議、平成16年10月31日までの旧町の決算審議、また、条例などを審査しました。

一般会計は362億5千万円、特別会計は237億5千万円、企業会計は25億1千万円、総額625億1千万円となっており、新生「丹波市」の夢と希望の助走予算として編成されています。

しかし、旧町から持ち寄った基金「一般会計」67億5千万円のうち初年度だけで23億9千万円を取り崩し、約67億6千万円の市債発行という非常に厳しい予算です。

経常収支比率は93.2%、さらに旧町からの引き継ぎ事業が多く新しい事業に取り組む余地がほとんどない状態であり、直ちに行財政改革を推進し、あらゆるところで見直しをする必要があります。

一般会計予算 (平成17年度)



ります。

今回の予算審議は、初めての通年予算であるため、議長を除く29人による予算特別委員会を設置し、3分科会に振り分け審査しました。

また丹波市の礎づくり

として、丹波市行政改革大綱、水道施設整備基本計画、環境基本計画、一般廃棄物処理計画、人権施策基本方針、地域防災計画、総合計画などの策定がはじまります。

本会議での主な質疑

問 厳しい財政の中でも「心の合併」が強調されているが、具体的に何をしようとしているのか。

答 丹波市の個性ある理念を、市の内外へ発信していきます。また、市民相互の交流を促進するため、市内研修などに利用するバス代を補助していきます。

問 合併と地域コミュニティサポート事業との整合性をどのように考えているのか。

答 丹波市づくりの基礎は小学校区であり、そこで住民が地域づくりをしていく時の事務局費です。

問 お出かけサポートは条件が厳しすぎるのではないか。

答 本当に困っている人に対応します。たまには休みをとって親を病院へ連れて行くことも必要ではないでしょうか。

問 春日ふるさと振興株式会社との管理運営を第三セクターですることは、市が赤字を背負うことになる。なにか歯止め策を考えているのか。

答 6月を目途に市の方針を確立します。

見直し・改革を

平成
17年度

特別会計の主な予算

(単位百万)

国民健康保険会計予算総額 6,158

・1人あたり72,364円の負担

介護保険会計予算総額 4,148

・1人あたり年額25,913円負担



青垣診療所

青垣診療所会計予算総額 380

・医師2名、看護師9名他13名

老人保健会計予算総額 7,871

簡易水道会計予算総額 843

下水道会計予算総額 4,201

・(氷上)中央区管路浄化センター

・(春日)棚原地区処理施設

春日自動車教習所会計予算総額など 82

・施設老朽化による改築調査。

駐車場会計予算総額 16

・市営駐車場は駅前付近9ヶ所。

農業共済事業会計予算総額 301

・水稻、麦、家畜、大豆、園芸の共済。

水道会計予算総額 2,210

・給水戸数 16,747戸



柏原母坪浄水場

平成
17年度

一般会計の主な予算

(単位百万)

1. 健康・福祉のまちづくり

お出かけサポート他 66

福祉タクシー 45

健康たんば21他 7

救急駐在所整備 33

保健施設整備事業 450

2. 教育文化のまちづくり

小学校施設整備 793

青垣住民センター 1,797

コミュニティサポート 24

3. 生活基盤の充実したまちづくり

公共交通対策 33

福祉バス運営 22

石生駅西土地区画整理 133

救急救助ポート 8

市単独道路整備 255



石生駅西

4. 環境共生のまちづくり

柏原藩陣屋跡松皮葺き替 21

環境基本計画策定 2

5. 産業が育つまちづくり

春日インター周辺整備 171

春日パーキング整備 259

地域活性化支援 16

被害地等造林 144

6. 連携・交流のまちづくり

総合計画策定 8

心の合併・マインド等 21

合併振興基金 1,300

民生常任委員会

- 電算システムの保守点検委託料が高額であり精査の必要がある。
- 低所得者の介護費用を軽減できないか。
- 地域で実施しているアフタースクールもあるが、今後の運営状況をみながら支援するべきである。
- 市廃棄物処理施設計画は、事前に協議された。
- 丹寿荘の建設が遅れているが、入所待ちの方が多くあり、早急に対処するべきである。

産業建設常任委員会

- 農業振興協議会の廃止に伴い、農業振興について早急に対応されたい。
- 市内にある多数の施設の運営について、地元などへの委託を検討されたい。
- 2つの森林組合の効率性を考え、合併を指導されたい。
- 地域活性化支援事業は、イベントなどに影響があるので、早く各地域に知らせられたい。
- 国道429号線に関する促進同盟は一本化をするべきだ。
- 道路整備計画を早急に作成し、対応されたい。

市当局に対する常任委員会の意見

議会では、17年度予算審議にあたり、本会議での質疑とあわせ、民生、総務、産業建設の各常任委員会で審議し、3委員会それぞれ意見を取りまとめ、市当局へ提出しました。その内容は次のとおりです。

総務
常任委員会

- 公の施設の指定管理者は、特別職、議員などが指定される団体に關与している場合は、歯止めをするべきである。
- 各施設の申し込みは、コンピュータ管理ができるようにされたい。
- 各税金の口座振替の推進により、滞納額が増加しないよう十分管理されたい。
- 教育施設の利用料などの支払いが、公民館となっており不便である。今後検討されたい。
- 学校給食については、今後どのような取り組みをするのか検討されたい。

反対
西本嘉宏議員

事務事業の一元化は、福祉や暮らしを中心に旧町の特殊な事情に配慮せず、様々な住民サービスを一方的に切り捨て、そして使用料などの引き上げと有料化は市民に衝撃を与えた。

一方では「市民権・同和教育協議会」の補助金は1,710万円とほとんど見直さず、不十分であり問題である。この補助金を旧「郡同教」並みにすれば激変緩和措置は十分できる。

春日IC活性化事業の見直しは一方的でなく、三セク会社に役員を派遣し、出資者の住民ともよく話し合い今後の方向を決める必要がある。

討論

賛成
藤本正巳議員

市長の「市政執行方針」予算付属説明資料から基金の取り崩し、市債の発行など厳しい財政状況にあるが、少子・高齢化時代、子育てがしやすい環境づくり、お年寄りが困ることがない施策が不十分だ。根源は「事務事業の一元化」作業で使用料をはじめ詳細な事務事業の内容は、幹部会で決める報告事項とし、合併協議の対象外となったことだ。各部署の窓口での問い合わせや、抗議・要望が出てきている。

時間と経費をかけ段階的に解消していく政治手法で対処されることを信じ賛成する。

旧6町の家計簿を**決算認定** 厳しくチェック

今回の決算審査は、丹波市誕生にともなう、16年4月から10月までの旧町打ち切り決算ですが、審査にあたった特別委員会は、旧町より2名の委員を選出し、活発な質疑を行いました。その結果賛成多数で可決認定しました。

旧柏原町決算

問 税の未収分の回収はどのような方法をとっているのか。

答 ▼収納対策委員会を設置して、管理職を含め関係職員で徴収にあたってきました。

問 (株)まちづくり柏原への増資と補助金の根拠は。

答 ▼増資は経営基盤の強化を行い、住民参画のまちづくりを行うためです。

行政が携わる部分を(株)まちづくり柏原で行っていますので、補助金を支出しています。

旧氷上町決算

問 コミュニティ施設(ボップアップホール)を閉鎖すると聞かされたが当時のいきさつと状況は。

答 ▼町は運営にかかわらないという協定書があり、市へ引き継いでいます。

問 町営住宅の数と空室状況、また不足している住宅数は。

答 ▼常楽、上成松、新郷、大谷にあり、現在香良に建設中です。空室はありません。入居待ちがある状況です。



△完成した香良市営住宅

旧青垣町決算

問 合併浄化槽の進捗状況は。

答 ▼進捗率は、98%です。

問 合併浄化槽整備補助金の内容は。

答 ▼浄化槽の管理上、適正に機能維持するために組合を作り、管理するシステムを作ってきました。

た。その補助金です。

問 町民センターが改築されている経緯は。

答 ▼庁舎と町民センターは、狭隘で老朽化も著しいため、支所機能とコミュニティ機能を併せもつ施設として改修を進めています。



△建設中の青垣町民センター

旧春日町決算

問 インターチェンジ周辺整備に係る(株)春日ふさと振興会社への1千万円の補助金の内訳は。

答 ▼生産者団体の育成、農業振興などを目的とし、ビニールハウス設置

に対する助成、加工品開発研究に係る費用です。

問 前問の補助金から人件費への支出はないか。町への報告は。

答 ▼出資者の同意により出資金から支出しています。会社から株主への報告はしています。

旧山南町決算

問 薬草公園を町営にした意図は。

答 ▼三セクによる経営は問題も多く、財団法人化は1億5千万円の基金が必要となることから、町営にしました。

問 保育所の統合は、どうなっているのか。

答 ▼園舎の老朽化による改築問題もあり、統合という形で提起してきました。

旧市島町決算

問 幼稚園がないところがあるのはなぜか。

答 ▼1園は、保育園のほうが長時間預かってもらえるので休園しています。前山、鴨庄地区からは、設置の要望がありませんでした。

問 県道絹山市島線促進協議会の新市の取り組みは。

答 ▼沼市島線、絹山市島線の旧市島町側車道部分の改修を優先し、旧氷上町の意向もふまえ取り組みます。

このほか、広域行政事務組合一般会計決算ほか4会計について審査しました。各町一般会計については賛成11、反対1、その他の会計については、全員賛成で可決いたしました。

条例を精査して可決！

本会議、委員会で審議して

議会では、市からの提案を受けた条例の内容について、本会議で質疑、また、関係する条例をそれぞれの委員会に付託して、審査をしました。

主な条例の内容と質疑は次の通りです。

丹波市公の施設の指定 管理者の指定手続等 に関する条例

地方自治法の一部改正により、既存の公の施設の管理については、平成18年9月の経過措置期間満了までに管理委託制度を廃止し、直営管理か指定管理者制度かを選択する必要があります。

しかし、新設する公の施設については、経過措置期間がないため、指定手続きの共通事項に関し、必要な事項を定めるものです。

丹波市立あおがき農産 物等加工直販施設条例

地域の活性化施設とし

て、今年1月末に完成した施設について、設置および指定管理者による施設の管理運営業務ならびに管理の期間などを定めるものです。

丹波市消防防災施設等 整備基金条例

丹波市消防本部または丹波市消防団の消防防災施設および施設の整備充実に要する経費に充てる



△地域の活性化が期待（大名草）

ための基金造成を図るものです。

丹波市人事行政の運営 等の状況の公表に関する 条例

地方公務員法の規定に基づき、人事行政の運営などの状況の公表に関し必要な事項を定めるものです。

丹波市立ひかみ障害者・ 児生活支援センター条例

障害者および障害児の生活自立と社会参加の促進をはかることを目的に、市立ひかみ障害者・児生



△下校後ものびのびと

活支援センターが設置されました。その設置、管理を定めるものです。

丹波市アフタースクール 子ども育成事業実施条例

保護者が仕事などにより昼間家庭にいない小学校に就学している概ね10歳未満の児童に対し、授業の終了後に公共施設などを利用して適切な遊びを通じて、その健全な育成を推進し、地域の子育て家庭への支援を行うためのものです。

丹波市廃棄物処理施設 設備計画策定委員会設 置条例

合併協議会で、「ゴミ処理施設の効率的運営を図るため、直ちに施設用地選定に着手し、平成23年度までに供用開始できるよう、速やかに新市ゴミ処理施設整備計画に着手する」と協定されました。この対応として平成17年度から廃棄物処理施設整備計画策定委員会を設置するためのものです。

丹波市立学校等整備基金条例

市立の学校などの施設の充実を図り、学校などの新築、改築および改修に要する経費の財源に充てるため、基金を設けるものです。

丹波市農林水産業施設災害復旧事業分担金徴収条例の一部を改正する条例

この条例は、市単独事業の小額災害復旧事業（市債、起債対応分）に係

る受益者分担金を、農地50%以内、農業用施設35%以内、林道35%以内とするものです。

丹波市立春日自動車教習所基金条例

丹波市立春日自動車教習所の施設の整備およびその他建設事業の経費ならびに必要な経費に充てるため基金を設置するものです。

丹波市コミュニティ・プラント整備事業基金条例

コミュニティ・プラント整備事業基金条例で建設する生活排水処理施設の健全な運用に資するための基金を設置するものです。

丹波市地域振興基金条例

丹波市における市民の連携の強化および均衡ある地域振興を推進するため基金を設け、毎年度予算に定める範囲内で積み立てをするものです。

条例審査の 主な質疑

問 丹波市公の施設の指定管理者の指定手続きは。

答 ▼公の施設の管理を指定管理者に行わせようとするときは、募集することとし、指定を受けようとするものは、事業計画書などにより申請し、議会の議決により、指定されます。

問 丹波市アフタースクール子ども育成事業実施条例は、市全域を対象としているのか。

答 特に旧市島町は有志により学童保育に取り組まれているが、この条例を市全域に適用し、支援していくべきだ。

問 丹波市立ひかみ障害者・児生活支援センターは旧町で計画され、このたび開設されるが、利用の対象は全市か。

答 ▼全市を対象として

いますが、小規模であり丹波市全体の施設としての対応が難しい状況です。

問 丹波市アフタースクール子ども育成事業実施条例は、市全域を対象としているのか。

答 特に旧市島町は有志により学童保育に取り組まれているが、この条例を市全域に適用し、支援していくべきだ。

問 市島町の取り組みは評価しています。今後は、旧市島町も含めて条例は全市に広げていきたいと考えています。



△障害者・児の生活支援拠点に（香良）



△23年までの使用期限の氷上クリーンセンター

3月定例会

丹波市第2回定例会で17名の議員が一般質問を行い、市民病院の建設、環境教育、地域政策、JR複線化、旧町庁舎の有効活用、市民憲章の制定、森林施策、土取場の有効活用、学童保育・児童保育、地域づくり、観光事業、自動車解体工場問題、行政改革、道路新設、税の減免、財政計画などについて市長の考えをたどしました。

一般質問

市政をたどす



24時間体制の病院建設を

財政面に対応できない

田坂幸恵議員

女性専門外来の設置を

問 医療福祉体制の充実を図るためには、24時間体制の病院が必要である。乳幼児から高齢者まで安心して暮らせる市民病院の建設の要望が市民からあるが、市長の考えは。

答 ▼患者の立場に立った医療を提供すること、日常の生活において通常の医療需要に対応できる医療体制を整備することが重要な課題となっており、ことは十分認識しています。現在の財政面から考えてすぐに対応できない状況です。

不妊治療に助成を

問 不妊治療助成事業の実現と女性専門外来の設置を求める会から、8、412名の署名を3月3日

市長に提出した。保険が適用されない人口受精、体外受精、顕微授精に高額な医療費がある。助成はどうか。

答 ▼国や県下の動向を注視して研究していきたいと考えています。

問 21世紀は女性の時代といわれている。女性特有の心身の悩みは、女性医師に相談したいとの声も多くあり、女性専門外来の設置をされたい。

答 ▼今後においても女性専門外来として設置する計画はありません。



△24時間体制の病院建設を



温暖化防止と環境教育を

環境基本計画を市民と協働で策定する

平井孝彦議員

問 京都議定書発効記念の講演でノーベル平和賞のケニア環境副大臣のワンガリ・マタイ博士が日本の「もったいない」を強調された。日本の家庭では、CO₂排出量が30%も増加し、日常生活の省エネ、ごみの分別などの取

り組みが最重要課題になっている。

市民、行政、学校教育における温暖化防止の取り組みは。

答 ▼環境基本計画で委員を公募し、17・18年度で取り入れたマスタープランを策定します。環境教



△ごみの分別、リサイクルに取り組んでいる
市内ショッピングセンター

育については、総合学習、遊びや体験、身近な環境問題などに対する取り組みの一層の充実を各学校に指導します。

男女参画センターの設置は

問 「男女が共に生きる社会」をめざし、情報発信や相談機能、人材育成などをサポートする男女参画センターの設置と公的支援の考えは。

答 ▼女性施策の企画、実施していくことと啓発は重要と考えています。男女協働参画社会の推進にはマスタープランを策定し、行政と住民が共に取り組むことが必要と考えています。



早急に行財政改革を

行政改革大綱を策定

吉見公之議員

問 会派「市民クラブ」を代表し一般質問をする。

17年度予算を「新生丹波市、夢と希望への助走予算」と位置づけているが、経常収支比率が93・2%は危機的状況である。早急に行財政改革を実行すべきである。また、行政改革委員会は民間企業で実績のある有識者を半数以上選ぶべきではないか。

政策形成から実施評価に至るには、行政活動に變更を迫れる「自治力」が備わることが必要だが、その向上にどう取り組むのか。

答 ▼市に対する愛着や誇り、住民同士の連帯感や、

住民と行政の共通認識を高め新たな地域づくりの仕組みを構築します。住民自治力を高め住民と行政の意識改革のためにもコミュニケーション事業を仕掛けていきます。

答 ▼部長級で行政改革推進本部と、部署ごとにプロジェクトチーム設置、17年度には民意を反映する検討委員会を中心に「行政改革大綱」を策定し、改革を真剣に進めます。

問 市は住民主導、行政支援で都市づくりを推進しようとしている。住民と行政が、対等な関係で



△早急に行財政改革を



JR福知山線複線化対策は

利用増進をはかりながら
推進をめざします

岸田 昇議員

問 JR福知山線複線化施策において住民意識の向上と促進につながる駅前周辺整備が必要であると思われるがどうか。

答 県は、おおむね2010年までに柏原までは複線化、長期的には全線の複線化をめざすとしています。今後の促進については基本構想の中で取り組めます。

駐車場の無料化は民間との関係もありもう一度検討します。

町づくり推進室の設置を

問 旧柏原町から中心市街地活性化法に基づく町づくりが引き継がれ、他の5町の中心地も今後再開発が必要である。庁舎内において総合的かつ一体的な事業を担当する

「町づくり推進室」の設置が必要と考えるがどうか。

答 基本計画策定時に「推進室」については改めて検討します。

一体的な道路構想を

問 県道氷上加美線トンネル化にともない、天王坂春日への延長と、春日

和山山道の交差する周辺に昇降口を設けることで新たな道路網構想が考えられるがどうか。

答 春日に通じる東西連携軸としても利便性の高い路線であり、今後慎重に検討します。

ミニインターについては開通後の道路事情によっては可能です。



△(株)まちづくり柏原が建設した駅前商業施設



旧山南庁舎などの有効活用は

行革で有効利用を
導き出したい

木戸せつみ議員

問 私たちは、丹波の地を、子や孫たちがいつまでも幸せに生きていけるところにするため合併した。

市長は市政執行方針で「17年度予算は財政基盤の確保に配慮し、行財政全般にわたり徹底した見直しを行い、経費支出の、一層の効率化を図り、夢と希望ある丹波市にむかつて助走をはじめ」と決意をのべておられる。

その決意であるならば、さらなる施設を造らずに、現在ある施設を見直しその有効活用を考えるべきでないか。

山南庁舎や、市島庁舎に教育委員会や保健福祉部を置くことも一案と考える。合併推進債でインターネットなどが整備されており、庁舎が分散し

ても行政事務の対応は可能ではないか。

山南庁舎は内外ともに充実しており、会議や研修の多い教育委員会の施設として活用してはどうか。市長の適正な判断を問う。

答 旧山南庁舎は市総合計画の前に組織・機構全般のあり方を検討する行政改革のなかで有効利用の方向性を導き出したく思います。



△旧山南庁舎の有効活用を



市民参画で市民憲章制定を

広く市民の意向を
取り入れ検討していく

太田喜一郎議員

問 市民参画を基本に、市民生活のモットーとして、また市民のよりどころとして市民憲章の制定が必要と考えるが市長の考えは。

答 広く市民の意向を取り入れながら検討していく、記念式典など公開の場を含めて市民に愛されるよう取り組みます。

市の歌、木、花の公募は

問 市歌・市木・市花・市鳥および丹波市音頭の公募は。

答 市民の一体化が進められた中で協議を進めることが最善と考え、制定の必要性も合わせて検討します。

戦略的C-1計画とは

問 戦略的C-1計画とは何か。わかりやすく説明を。

答 丹波市の理念を世間に訴え、市として独立性、個性、理念を的確に表現し内外にアピールする戦略で、企業のCをシテイのCに置き換えました。市の個性をめざす委員会を作り、市民の声を十分反映したいと考えます。

問 丹波市の物産展示コーナーを開設しては。

答 今後大いに検討し実現させたい。また、ホームページも活用したい。

せないか。

答 今のところ従来の施策で進めていくが、次の段階ではさらに発展させたいと考えます。

産業基盤の強化に合併のメリットを

問 産業基盤の強化と活性化のなかで厳しい経営を支援する

とあるが、これらの制度は旧町の施策である。合併によるスケールメリットは出



△みんなが参加のまちづくりを



森林施策をどう引き継ぐのか

林業振興協議会などで
施策を推進

荻野拓司議員

問 近年頻発する自然災害も、農産物への被害の

広がりも元をたせば森林の荒廃に起因する面が多い。

森林に囲まれた丹波市の地域性からも、息の長い森林の整備が重要である。旧町が森林組合などを通じて手掛けてきた森林施策を市はどのように引き継がれるのか。

また、木材、間伐材の利活用が求められ、木質バイオマスエネルギーの事業化も将来に向けて期待されている。

バイオマスエネルギー事業については、旧町で事業調査に取り組み、その報告書には「現実的な導入価値が極めて高い」とある。県下でも導入実践の事例を聞いている。

今後の対応についての

考えはどうか。

答 旧町で計画されていた森林施策計画に基づき環境対策育林事業の積極的な支援を重点に公的管理に務めます。

また、「林業振興協議会」をつくり、関係者による施策の推進をはかります。

また、バイオマスエネルギー事業化は採算性の面から大変難しい状況で、継続して研究などしていきたいと思っています。



△森林整備を！



自動車道土取場の利用は

多方面からの総合的
土地利用を考える

近藤良雄議員

問 春日町火山^{ひやま}の土取り場20、000㎡にグラウンドゴルフ場の建設を。

答 ▼春日町平松の春日和山自動車道土取り場の跡地活用については、旧町でも慎重に審議されましたが合意に至らず、新市に引き継ぎされています。

グラウンドゴルフ場としての活用であります。春日市には旧町それぞれ、立派な総合グラウンドが整備され、健康増進施設としては十分対応が可能と考えます。

当用地は環境のよいところでありますので多方面からの総合的土地利用を検討していきたいと考えています。

問 地域コミュニティサポーター事業をどう考えるのか。

答 ▼少子化、核家族化、都市化、情報化の中で切磋琢磨の機会が減少し、地域社会への帰属意識が希薄化し、実体験が疑似体験に置き換えられたこ

とによって、さまざまな問題が顕在化しています。地域コミュニティサポーター事業により、温みのある、地域社会の創造と安全で安心して暮らせる社会の実現をめざしたいと考えています。



△春日町火山の土取り場の活用を



子育て支援の今後の対策は

安定した受け入れ体制の
確保に努める

山下栄治議員

問 少子化の原因の一つに、子育てへの負担感が上げられている。そういった中で、ようやくいろいろな子育て支援が取り入れられるようになってきた。

答 ▼幼稚園と保育園との目的・機能の差異には留意しつつ、丹波市も合併をひとつの機会としてとらえ、少子化対策の一環として今後子育て支援にどのようなかわつていくのか、早いうちに統一した対策を立てていく必要があると思うがどうか。

答 ▼市では次世代育成支援法にもとづき、平成17年度から21年までの5年間を一期とする次世代支援行動計画の策定がまもなく完成します。

地域や保護者をはじめ、教育委員会などの関

係者が子育て支援の必要性を十分認識する中で、利用児童数の推移なども見極めながら、今後、施設の集約化や幼稚園児の預かり保育との共同保育の検討も含め、安定した受け入れ体制の確保に努めていきます。



△アフタースクールで「のびのび子育て」



環状線化の交通網は

将来構想では必要と思うが

竹知正明議員

問 丹波市は面積が広く、地の利を活かすためにも、治山・治水、防災ネットワーク、その他健康増進、観光開発などの観点から次の点はどうか。

①市内中心部と周辺地域格差解消や地域間連携などの交流促進につながる将来構想として、市内を環状線化するような交通網を考えてはどうか。

答 税創設の郡議長会の運動は今後活かされるか。
答 ①丹波市が一つになるために、市全体を知らない市民も多く、交流により丹波市を広く知ってもらいたいと考えています。

必要だと思っています。
 ②団体やグループ相互の交流を支援し、住民の郷土愛高揚による心の合併を促進します。
 ③市民行政の協働と参画により、個性あふれる地域づくりに協力してくだ

さい。

将来構想として、市内を環状線化する交通網は

②道路整備に向けて各地でふれあい交流ハイキングが行われており、地域を結ぶ道路が多いほど安心である。

住民の理解によって、峠を抜ける道路整備があってもいいのではないか。
 ③丹波の森構想を、いかに地域づくりや人づくりにつないでいくのか。

昨年の森林環境・水源



△樹木の伐採で見通しのよくなった県道賀茂春日線



観光事業を積極的に

県事業と連動した取り組みを推進

大野亮祐議員

問 丹波市の人口は、現在約73,000人で、新市建設計画では、平成27年には、70,000人になると予測している。

定住人口の減少は、町に元気がなくなり、税収も厳しくなる。

しかし、交流人口の増加は、今後の取り組みによって可能である。そのひとつが、観光事業の積極的な展開であると思う。

本年度、県において丹波地域の観光に積極的に取り組まれる。

市としても、積極的に取り組むべきだと思うが市長の考えはどうか。

答 丹波市として県が計画している事業と連動した取り組みを推進していきます。特に丹波市の新しいイメージづくりが

大切です。

観光事業のより一層の充実を図るために、地域に埋もれていた小さな産業・文化の財産に光をあて、県とも連携を図りな

がら、地域や関係団体とのネットワークを結びつけた地域振興とツーリズムの推進を図っていかなくてはならないと考えています。



△多くの人が訪れる柏原厄除け市（毎月18日開催）



解体工場の住民周知徹底を

事業者より下流域に
説明するよう指導

西本嘉宏議員

問 自動車解体工場は、下流域の住民に公害の不安がある。県条例に基づき関係住民への周知説明会の要請を行うべきである。「環境基本計画」に、産業廃棄物処理場に対する規制強化を盛り込んでどうか。

答 ▼現在、市内の小規模業者約250件の申請を受けています。情報を提供し優先的に小規模業者への受注機会の拡大を図っていきます。

雇用対策協議会の設置を

答 ▼県条例以上に下流域の方に事業者から説明するよう指導しました。市および県は、公害監視を続けます。工場設置規制条例を利用した規制を検討しますが、土地所有者などの理解が必要です。

問 新規卒者の就職支援を強化するため、企業などとともに「若者の雇用対策協議会」を結成し、

市は相談窓口を担当者を配置し対応してはどうか。
答 ▼若者の雇用情勢は厳しいが、県や関係機関などと連携し、情報交換を通じ就労機会を提供し工場誘致にも努めます。協議会は、現在設置されていませんが、相談窓口も含め、今後の参考にします。

問 旧春日町では、小規模契約希望者登録制度があった。市でも実施してはどうか。

小規模業者の登録制度を



△建設が始まった自動車解体工場。手前は竹田川



行政改革の進め方は

公募などによる
市民の参画で

小山欣弥議員

問 丹波市の17年度予算は、約24億円もの基金を繰り入れるなど大変厳しい内容となっており、よほど思い切った行財政改革を進めなければならぬ。

市長は「行政が何をしてくれるかでなく、自分は何ができるか」と市民の意識改革を求めている。それには十分な説明と情報開示が大事であり、そのためのシステムをつくる必要があると思うがどうか。

ミニ公募債を発行しては

問 市財政の財源確保策として、ミニ公募債を発

行してはどうか。
答 ▼現時点での発行は考えていません。資金調達が厳しい状況や、発行コストに見合う効果が得られる場合には、将来必要な手段と考えています。

※ミニ公募債とは、自治体が地域住民を対象に、使い途、限度額を決めて発行する債券。

答 ▼行政改革推進本部を設置し、庁内プロジェクトチームでそれぞれの事案について検討し、その内容を広報でお知らせします。



△市民が主体で…



市民にわかりやすい行革を

引き継ぎ事項であり
組織検討する

奥村正行議員

問 市民に理解と協力を得ながら行政改革を進めるためには、旧町意識を徹底的に排除し、真の心の合併をしなければならぬ。

市が進めている早期勧奨退職は、わかりやすい改革である。

合併協議会で決定した教育委員会事務局は旧郡民会館である。しかし、山南支所は駐車場が広くホール、プール、グラウンドなどが隣接し、教育委員会事務局に最適である。

山南支所を有効活用することは市民に理解を得られる改革ではないか。

答 ◆市民に行政改革を理解していただくことは、極めて大事なことでありと考えます。旧郡民会館は合併協で決定され、引き継ぎ事項で改修

も行われており、直ちに変更は難しく、組織・機構全般のあり方を検討する必要があります。

問 教育長は合併協議委員時に、教育委員会事務局は山南支所が適しているとの考えだったが、今

の考えは。
答 ◆会議室、ホール、グラウンドなどが隣接し、そのような考えであったが、協議会で決定された以上従うことが委員としての責務と考えます。



△ガランとした旧庁舎（旧山南庁舎2階）



命の道「上久下・柏原線」の新設を

旧町の取り組みを引き継ぎ、
研究を進める

前川豊市議員

問 山南町上久下地域は無医地区で、柏原町の病院まで1分1秒を争う緊急事態を想定すると、大変不安で上久下・柏原線の道路新設の要望は強い。

柏原町と山南町では平成12年度からこの事業の実現に向けて取り組んできた。この路線ができれば、病院まで10分以上の短縮となり、まさに「命の道」である。

合併後の丹波市に、両町からの引き継ぎ事業となっている。市長はこの事業の重要性を認識し、積極的に取り組むべきだ。

答 ◆山南地域の上久下地区は、山南地域の中においても山間地に位置し、無医地区であり、柏原地域の総合病院など医療施設や公共施設などの

アクセス道路が、地元要望として強いことはよく承知しています。

救急医療を考えるとまさに「命の道」と言われることはよくわかります。これまでの取り組みの経緯を大切に、今後この取り組みの火を消さないように、また途切れないようにとの意見を、そのまま受け止め、県民局とも話し合いをすすめたいと思いますが、なにしていきます。



△「上久下・柏原線」の新設を



国民健康保険税減免制度を

旧町時の条例などをもとに
整備を進める

広瀬憲一議員



長期財政計画で市の方向を

早い時期に策定します

足立正典議員

問 高齢者への福祉が叫ばれて久しくなるが、今日の情け容赦のない施策によって高齢者ほど負担増をもたらしている。救済処置として①資格証明書の発行はしない②生活困窮者への減免制度を取り入れることを求めたい。

答 ▼旧町の条例を基本に整備を進めます。なお、資格証明書はできるだけ発行しません。

起債の返済計画を

問 今後の財政確保について合併からくる財政的矛盾と市民要求を削ることで成り立つ新年度予算に今後の財源確保と市民サービス優先の事業推進、ハード事業の整備など市の財政計画を示し財

政運営の健全化を図ることが課題である。また、起債残高約1、100億円の返済計画を早急にたてよ。

答 ▼新市の総合計画を早急に策定し、財政運営の健全化に取り組ま

介護保険に減免制度を

問 お金のないものは介護が受けられない。高齢者が安心してサービスを受けられるよう市独自の減免を取り入れるべきだ。

答 ▼現行の市介護保険条例に従って行い、現在市独自の減免は考えていません。

問 厳しい財政状況を健全化するのが市長に託された大きな課題である。市の方向を明確にし、長期財政計画をたて、対処しては。

住民参加推進準備室の設置と窓口サービスの土曜開庁はできないか。

答 ▼厳しい財政運営であり、早い時期に財政計画を策定します。住民参加は審議会への公募委員、パブリックコメントなどにより参加促進を図ります。土曜開庁は協議して検討します。

担い手育成の考えを明確に

問 市の担い手育成の考え方を明確にし、各分野、各地域で農業振興が図られるようすべきである。育成支援、省力化対策

に補助制度の活用は。

答 ▼意欲と能力のある担い手の育成確保、集落営農の組織化の推進を図りつつ、認定農業者、集落営農組織への支援助成を講じます。省力化対策への各種の補助制度活用を検討します。

巡回バスは大事な事業では

問 子供や福祉施設が利用できない方が市の公共

施設を利用する場合の移動手段のみならず、「心の合併」すなわち、丹波市が一つになる上にも巡回バスは大事な事業ではないか。

答 ▼地域力を活かした住民主導型公共交通導入の仕組みが必要です。現在、丹波県民局で丹波市コミュニティバス基本構想の策定中であり、必要性を整理し検討します。



△いきいき高齢者



△窓口業務市民調査の評価の低い山南支所

請願審査について

▼竹田川漁業協同組合長
安達勝三氏による「自動車解体工場の建設に関する請願」については継続審議中。

▼市島町五地区自治振興会長、鴨庄、前山、吉見保育園保護者会会長による「就学前幼児保育に関する請願」は採択。

民生常任委員会の
研修事項

▼総合的福祉施策に関し、大館市「秋田県北部老人福祉総合エリア」(コミュニティセンター、特別養護老人ホームつくし苑、データービスセンター、在宅介護支援センター、ケアハウス鳳凰、ふれあいセンターやまびこ)。鹿角市「鹿角市福祉プラザ」(児童センター、高齢者センター、障害者

センター、知的障害者デ
イサービスセンター)。
また、江刺市総合福祉ゾ
ーン(総合コミュニティ
センター、社会福祉協議
会、身体障害者デイス
サービスセンター、知的障
害者授産施設わかさ学
園、精神障害者ふれあい
工房)などで研修を深め
ました。

子育て支援センター、
ファミリーサポートセン
ター、子供発達相談セン
ター、特区申請による幼
保一元化施設、学童保育
のクラブは11の小学校内
で実施されていました。
これらの地域では特に
高齢化と過疎化が進み深
刻な事情を抱えていまし
たが、広大な敷地に各福
祉施設を集中した方式が
とられ、それぞれ充実し
た施設として運営されて
いました。



△福祉の先進事例を調査

請願

丹波市「市民安全部【仮称】」新設に関して調査
総務常任委員会では、
4月25日に閉会中の継続
付託審査として、平成16
年4月から県下の市で初
めて行政組織の中に専門
部局として、また全国的
にも例が少ない「市民安
全部」を新設している小
野市へ視察に行きました。
所管の部長から組織
構成や事務分掌について
説明をうけ、条例に定め
る基本理念に基づき実施
されている「安全安心パ
トロール」などの目的や
実施方法について調査し
ました。設置後は、犯罪
件数や不法投棄なども大
幅に減少し、その効果が
出ているそうです。今後、
それらの調査結果を踏ま
え審査の参考にしていき
ます。



△市民安全部の事例を調査

委員会 報告

かたくりの花里・清住

うす紅紫でうつむきかげんに恥ずかしそ
うに咲くかたくりの花、でもその鱗茎に
は命の源をたっぷりと含んでいる。

「もののふの八十をとめらがくみまがふ寺
井の上の堅香子の花」と万葉歌人が歌った
ように、清住の山里は、かたくりの花に魅せ
られた心若き人々でいっぱいでした。「まる
で紫のじゅうたんのよう」と京都から来た写
真グループ。また、堺から来たちぎり絵の女
性たちは「恋しい人にやっと出会えた気持ち
です。ちぎり絵にふさわしい花と聞いていた
が本物が見られて感動しています」と必死に
スケッチをしておられました。「このような自
然を残していただいてありがたい」と感謝し、
げんき村の杵つきもちに舌づつみをうって
いる人もありました。

(たんばりんぐ編集員取材)



▲木もれ日に咲くかたくりの花

氷上へ一直線

氷上町商工会局長 梅垣 嘉位

念願の氷上インターチェンジが4月17日に
開通するのに伴い、開通イベントが
4月10日マラソンランナー谷川真理さんを迎
え開催されました。

多くの人々が氷上インターに集まること
が予想され、氷上町商工会では、この機会に氷上
インターとともに「氷上のことをもっと知っ
てほしい、来てほしい」と願いを込め、道路脇
に「氷上へ一直線」ののぼり旗を300本立てま
した。

周辺の事業所の協力を得て、多くの人に訴
えることができました。また谷川真理さんの
ワッペン「ようこそ氷上へ」を作成しロードサ
イド店や企業に依頼し胸に付けてもらいまし
た。氷上町の道路マップを作成し、当日の参加
者に手渡し、再度の来町をお願いしました。

こうした一連のことが氷上インターの開通
をとおして、この地域にさらに明るい兆しを
運ぶきっかけになるよう願うことしきり
です。氷上インターが開通し便利になるととも
に、いかに氷上インターで乗降していただく
かがこれからの大きな課題です。



▲氷上インター開通イベント

市民の投稿



表紙説明

「たんばりんぐ」の表紙写真
は、丹波市の希望の星である地場産業
を掲載します。2号は旧山南町の
地場産業として全国展開し、海外
へも輸出されている「ブリザーブ
ド&ドライフラワー」の加工作業
と製品です。

編集後記

新緑に陽光がさし、今、自然界
が生き生きとし、野山や田園風
景に息吹を強く感じる丹波。自
動車道の整備や、諸施設の充実
により、周辺都市部との交流に
とどまらず、広く全国にネット
ワーク化されます。

自然との調和を崩すことな
く、地域の特色を生かした、魅力
あるふるさとづくりに、多くの
市民の皆様が取り組みをされて
います。訪れる人々も年々多
なることを期待します。

議会広報も市民の皆様方のご
意見、ご要望をお聞きし、さら
に、わかりやすく議会審議の過
程をお伝えします。ごつど「たん
ばりんぐ」を愛読ください。